



2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年7月29日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社東京きらぼしフィナンシャルグループ

コード番号 7173 URL <https://www.tokyo-kiraboshifg.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡邊 壽信

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 木村 智勇 TEL 03-6447-5799

配当支払開始予定日 -

特定取引勘定設置の有無 無

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：無

(百万円未満、小数点第1位未満は切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	38,841	9.6	9,657	11.2	6,511	11.5
2024年3月期第1四半期	35,423	13.5	8,678	86.3	5,836	100.5

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 Δ 2,880百万円(-%) 2024年3月期第1四半期 10,423百万円(-%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	215.74	156.04
2024年3月期第1四半期	193.82	112.95

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	6,769,044	358,818	5.3
2024年3月期	7,193,503	365,129	5.0

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 358,782百万円 2024年3月期 365,092百万円

(注) 自己資本とは、期末純資産の部合計から期末新株予約権及び期末非支配株主持分を控除した金額であり、「自己資本比率」は自己資本を期末資産の部合計で除して算出しております。なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示（2006年金融庁告示第20号）に定める自己資本比率ではありません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	-	65.00	-	80.00	145.00
2025年3月期	-	-	-	-	-
2025年3月期（予想）	-	75.00	-	75.00	150.00

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

(注2) 上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式（非上場）の配当の状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	15,200	Δ 16.9	10,200	Δ 24.2	331.70
通期	32,100	Δ 2.6	24,500	Δ 4.4	798.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期1Q	30,650,115株	2024年3月期	30,650,115株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	576,856株	2024年3月期	394,867株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年3月期1Q	30,183,368株	2024年3月期1Q	30,112,073株

(注) 当社は、株式交付信託を導入しており、当該信託が所有する当社株式を自己株式に含めて記載しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりであります。

(第1回第一種優先株式)

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2024年3月期	円 —	円 133.00	円 —	円 133.00	円 266.00
2025年3月期	—				
2025年3月期(予想)		140.00	—	140.00	280.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

2. 1株当たりの払込金額 20,000円

3. 1株当たり配当金の算定の基礎となる計数及び算式

(1) 2024年3月期

① 算式

配当金 = 1株当たりの払込金額 × 配当年率

② 配当年率 (※)

配当年率 = 日本円TIBOR + 1.1%

③ 日本円TIBOR

2023年3月31日における日本円TIBOR (12ヶ月物) = 0.23364%

④ 発行済株式数

750,000株

(2) 2025年3月期(予想)

① 算式

配当金 = 1株当たりの払込金額 × 配当年率

② 配当年率 (※)

配当年率 = 日本円TIBOR + 1.1%

③ 日本円TIBOR

2024年4月1日における日本円TIBOR (12ヶ月物) = 0.29545%

④ 発行済株式数

750,000株

※ 配当年率は、%未満小数第3位まで算出し、その小数第3位を四捨五入

(第二種優先株式)

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2024年3月期	円 —	円 23.364	円 —	円 23.364	円 46.728
2025年3月期	—				
2025年3月期(予想)		29.545	—	29.545	59.090

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

2. 1株当たりの払込金額 20,000円

3. 1株当たり配当金の算定の基礎となる計数及び算式

(1) 2024年3月期

① 算式

配当金 = 1株当たりの払込金額 × 配当年率

② 配当年率

配当年率 = 日本円TIBOR + 0.0%

③ 日本円TIBOR

2023年3月31日における日本円TIBOR (12ヶ月物) = 0.23364%

④ 発行済株式数

2,000,000株

(2) 2025年3月期(予想)

① 算式

配当金 = 1株当たりの払込金額 × 配当年率

② 配当年率

配当年率 = 日本円TIBOR + 0.0%

③ 日本円TIBOR

2024年4月1日における日本円TIBOR (12ヶ月物) = 0.29545%

④ 発行済株式数

2,000,000株

【添付資料の目次】

1. 経営成績等の概況

（1）当四半期の経営成績の概況	2
（2）当四半期の財政状態の概況	2
（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

（1）四半期連結貸借対照表	3～4
（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5～6
（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(会計方針の変更に関する注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7～9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更)	10
(追加情報)	10
(重要な後発事象)	10

3. 2025年3月期第1四半期決算説明資料

（1）損益の状況	11～13
（2）ROE	14
（3）OHR	15
（4）自己資本比率（国内基準）	16～17
（5）リスク管理債権及び金融再生法開示債権	18～19
（6）貸出金・預金残高等の状況	20～22
（7）時価のある有価証券の評価損益	23

1. 経営成績等の概況

（1）当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間の経営成績は、連結業績の大宗を占めるきらぼし銀行の経常利益が95億円（前期比△25億円）、四半期純利益は65億円（同比△29億円）となりましたが、内部取引の消去など連結決算上の調整を行ったことにより、経常利益が96億円（同比+9億円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は65億円（同比+6億円）となりました。

なお、きらぼし銀行の経営成績における主な増減要因（前期比）は、以下のとおりです。

貸出金利息※1	：メイン化取引の推進やお客さまとのリレーション強化の取組み等により、引き続き貸出金は増加、利回りも上昇し、前期比+7億円。
有価証券利息配当金	：持分法適用関連会社からの配当金の受取が35億円減少したこと等により同比△35億円。
その他資金利益	：金利上昇に伴う預金利息の増加や、U I 銀行への借入金利息の支払い増加等により同比△3億円。
非金利収益※2	：事業性ファイナンス等による法人役務収益が減少したこと等により同比△19億円。
経費	：事務委託費等物件費の増加等により同比+9億円。
与信関係費用	：金融再生等の支援強化等により同比△5億円。
債券・株式等関係損益	：国債等債券の売却損が増加した一方、純投資株式の売却益の増加等により同比+8億円。

※1. 貸出金利息には実質無利子・無担保融資等自治体から事後的に補給される利子補給金が含まれております。

※2. 非金利収益は、コア業務粗利益を構成する計数のうち、資金利益を除いたものです。

（非金利収益＝信託報酬＋役務取引等利益＋その他業務利益（国債等債券損益を除く））

経営成績の概況の詳細につきましては、添付資料24ページ「東京きらぼしフィナンシャルグループ 2025年3月期第1四半期 決算概要」をご覧ください。

（2）当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末比4,244億円減少し6兆7,690億円となり、純資産はその他有価証券評価差額金の減少等により、前連結会計年度末比63億円減少し3,588億円となりました。

主要な勘定残高につきましては、預金は前連結会計年度末比1,384億円増加し5兆9,687億円、貸出金は前連結会計年度末比116億円増加し4兆8,329億円、有価証券は前連結会計年度末比42億円増加し9,320億円となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年5月1日に公表いたしました2025年3月期の業績予想につきましては変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
現金預け金	1,157,591	723,959
コールローン及び買入手形	5,238	4,977
買入金銭債権	72,311	69,115
商品有価証券	1,061	1,118
金銭の信託	4,508	5,204
有価証券	927,806	932,073
貸出金	4,821,294	4,832,957
外国為替	4,857	5,127
リース債権及びリース投資資産	28,333	28,746
その他資産	77,650	67,106
有形固定資産	59,913	59,747
無形固定資産	17,636	17,527
退職給付に係る資産	34,693	35,422
繰延税金資産	1,940	6,105
支払承諾見返	5,526	6,997
貸倒引当金	△26,863	△27,140
資産の部合計	7,193,503	6,769,044
負債の部		
預金	5,830,294	5,968,749
譲渡性預金	71,000	113,500
コールマネー及び売渡手形	654,868	48,788
債券貸借取引受入担保金	155,252	163,570
借入金	53,936	52,136
外国為替	1,012	416
社債	5,848	5,488
信託勘定借	609	405
その他負債	46,202	47,850
賞与引当金	1,815	576
役員賞与引当金	176	—
株式報酬引当金	389	391
退職給付に係る負債	82	85
役員退職慰労引当金	118	111
ポイント引当金	95	93
睡眠預金払戻損失引当金	174	137
偶発損失引当金	885	854
特別法上の引当金	0	0
繰延税金負債	83	74
支払承諾	5,526	6,997
負債の部合計	6,828,373	6,410,226

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
純資産の部		
資本金	27,500	27,500
資本剰余金	150,974	150,975
利益剰余金	172,896	176,825
自己株式	△936	△1,784
株主資本合計	350,434	353,515
その他有価証券評価差額金	1,696	△8,697
繰延ヘッジ損益	△397	877
土地再評価差額金	△242	△242
為替換算調整勘定	40	51
退職給付に係る調整累計額	13,561	13,277
その他の包括利益累計額合計	14,658	5,266
新株予約権	9	9
非支配株主持分	27	26
純資産の部合計	365,129	358,818
負債及び純資産の部合計	7,193,503	6,769,044

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
経常収益	35,423	38,841
資金運用収益	20,636	21,342
(うち貸出金利息)	16,289	16,954
(うち有価証券利息配当金)	3,911	3,942
信託報酬	96	63
役務取引等収益	5,451	5,045
その他業務収益	1,675	190
その他経常収益	7,563	12,200
経常費用	26,745	29,183
資金調達費用	1,337	1,605
(うち預金利息)	572	914
役務取引等費用	701	741
その他業務費用	1,304	4,315
営業経費	15,321	16,465
その他経常費用	8,080	6,054
経常利益	8,678	9,657
特別利益	—	45
固定資産処分益	—	45
特別損失	14	1
固定資産処分損	14	1
税金等調整前四半期純利益	8,663	9,701
法人税等	2,836	3,190
四半期純利益	5,827	6,510
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△9	△1
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,836	6,511

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	5,827	6,510
その他の包括利益	4,596	△9,391
その他有価証券評価差額金	4,686	△10,393
繰延ヘッジ損益	△95	1,274
為替換算調整勘定	5	11
退職給付に係る調整額	△5	△283
持分法適用会社に対する持分相当額	5	0
四半期包括利益	10,423	△2,880
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,432	△2,879
非支配株主に係る四半期包括利益	△9	△1

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（会計方針の変更に関する注記）

（「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用）

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」（企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分（その他の包括利益に対する課税）に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。）第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）

（税金費用の処理）

連結財務諸表作成における税金費用は、当社及び連結子会社の当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じることにより算定しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年6月30日）

1. 報告セグメントごとの経常収益及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他	合計
	銀行業	リース業	計		
経常収益					
外部顧客に対する経常収益	28,875	3,261	32,136	3,435	35,572
セグメント間の内部経常収益	88	193	281	3,434	3,716
計	28,963	3,454	32,418	6,870	39,289
セグメント利益	8,503	117	8,620	2,333	10,954

（注）1. 一般企業の売上高に代えて、それぞれ経常収益を記載しております。

2. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、コンサルティングサービス、コンピュータ関連サービス、情報提供サービス業、クレジットカード業及び債権管理回収業等であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(1) 報告セグメントの経常収益の合計額と四半期連結損益計算書の経常収益計上額

（単位：百万円）

経常収益	金額
報告セグメント計	32,418
「その他」の区分の経常収益	6,870
パーチェス法による調整	△148
セグメント間取引消去	△3,716
四半期連結損益計算書の経常収益	35,423

（注）一般企業の売上高に代えて、それぞれ経常収益を記載しております。また、差異調整につきましては、経常収益と四半期連結損益計算書の経常収益計上額との差異について記載しております。

(2) 報告セグメントの利益の合計額と四半期連結損益計算書の経常利益計上額
(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	8,620
「その他」の区分の利益	2,333
パーチェス法による調整	△180
セグメント間取引消去	△2,095
四半期連結損益計算書の経常利益	8,678

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの経常収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	合計
	銀行業	リース業	計		
経常収益					
外部顧客に対する経常収益	31,747	3,432	35,179	3,701	38,881
セグメント間の内部経常収益	48	218	267	4,375	4,642
計	31,796	3,650	35,446	8,077	43,524
セグメント利益	9,207	106	9,314	3,075	12,390

(注) 1. 一般企業の売上高に代えて、それぞれ経常収益を記載しております。

2. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、コンサルティングサービス、コンピュータ関連サービス、情報提供サービス業、クレジットカード業及び債権管理回収業等があります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(1) 報告セグメントの経常収益の合計額と四半期連結損益計算書の経常収益計上額
(単位：百万円)

経常収益	金額
報告セグメント計	35,446
「その他」の区分の経常収益	8,077
パーチェス法による調整	△40
セグメント間取引消去	△4,642
四半期連結損益計算書の経常収益	38,841

(注) 一般企業の売上高に代えて、それぞれ経常収益を記載しております。また、差異調整につきましては、経常収益と四半期連結損益計算書の経常収益計上額との差異について記載しております。

(2) 報告セグメントの利益の合計額と四半期連結損益計算書の経常利益計上額
(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	9,314
「その他」の区分の利益	3,075
パーチェス法による調整	△72
セグメント間取引消去	△2,660
四半期連結損益計算書の経常利益	9,657

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	1,276百万円	1,640百万円
のれんの償却額	79百万円	125百万円

(当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3. 2025年3月期第1四半期決算説明資料

(1) 損益の状況

① 東京きらぼしフィナンシャルグループ

【連結】

2025年3月期第1四半期の経常収益は、前期比3,417百万円増加の38,841百万円、経常利益は前期比979百万円増加の9,657百万円となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前期比675百万円増加の6,511百万円となりました。

(単位：百万円)

		2024年 6月期	2023年 6月期比	2023年 6月期
経常収益	1	38,841	3,417	35,423
業務粗利益	2	19,977	△4,539	24,517
(除く国債等債券損益(5勘定戻))	3	(23,347)	(△702)	(24,050)
資金利益	4	19,736	436	19,299
信託報酬	5	63	△32	96
役務取引等利益	6	4,303	△446	4,750
その他業務利益	7	△4,125	△4,496	371
経費(除く臨時処理分)	8	16,859	1,556	15,302
与信関係費用	9	852	△541	1,393
株式等関係損益	10	6,025	4,729	1,296
持分法による投資損益	11	2	0	1
その他	12	1,363	1,803	△440
経常利益	13	9,657	979	8,678
特別損益	14	43	58	△14
税金等調整前四半期純利益	15	9,701	1,037	8,663
法人税等	16	3,190	353	2,836
四半期純利益	17	6,510	683	5,827
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	18	△1	8	△9
親会社株主に帰属する四半期純利益	19	6,511	675	5,836

② きらぼし銀行

【単体】

2025年3月期第1四半期の単体業績は、メイン化取引の推進やお客さまとのリレーション強化の取組み等により貸出金利息が増加するも、持分法適用関連会社からの配当金の受取がなくなったことや主に事務委託費等の物件費が増加したこと等により、経常利益が前期比2,593百万円減少の9,569百万円、四半期純利益は前期比2,917百万円減少の6,566百万円となりました。

(単位：百万円)

		2024年 6月期	2023年 6月期比	2023年 6月期
経常収益	1	31,644	△588	32,232
業務粗利益	2	17,735	△8,974	26,709
(除く国債等債券損益(5勘定戻))【コア業務粗利益】	3	(21,105)	(△5,109)	(26,214)
資金利益	4	19,478	△3,205	22,683
信託報酬	5	63	△32	96
役員取引等利益	6	2,456	△1,170	3,626
その他業務利益	7	△4,263	△4,566	303
経費(除く臨時処理分)	8	14,114	909	13,205
人件費	9	5,590	△288	5,879
物件費	10	6,962	894	6,068
税金	11	1,560	303	1,257
業務純益(一般貸倒引当金繰入前)【実質業務純益】	12	3,620	△9,883	13,504
(除く国債等債券損益(5勘定戻))【コア業務純益】	13	(6,990)	(△6,018)	(13,009)
コア業務純益(除く投資信託解約損益)	14	(6,986)	(△5,136)	(12,123)
コア業務純益(除く特殊要因) ^(注)	15	(6,990)	(△2,503)	(9,494)
一般貸倒引当金繰入額 ①	16	△28	266	△294
業務純益	17	3,649	△10,149	13,798
(うち国債等債券損益(5勘定戻))	18	(△3,370)	(△3,865)	(494)
臨時損益	19	5,920	7,555	△1,635
不良債権処理額 ②	20	712	△857	1,570
貸出金償却	21	—	—	—
個別貸倒引当金繰入額	22	585	△800	1,385
債権売却損	23	—	—	—
偶発損失引当金繰入額	24	△31	△23	△8
信用保証協会責任共有制度負担金	25	156	△25	182
その他不良債権処理額	26	2	△7	10
貸倒引当金戻入益 ③	27	—	—	—
償却債権取立益	28	10	△215	225
株式等関係損益	29	6,033	4,741	1,291
その他臨時損益	30	589	2,171	△1,581
経常利益	31	9,569	△2,593	12,163
経常利益(除く特殊要因) ^(注)	32	9,569	921	8,648
特別損益	33	△71	△56	△14
税引前四半期純利益	34	9,498	△2,650	12,149
法人税等	35	2,931	266	2,664
四半期純利益	36	6,566	△2,917	9,484
四半期純利益(除く特殊要因) ^(注)	37	6,566	597	5,969
与信関係費用 ①+②-③	38	684	△591	1,275

(注) 持分法適用関連会社の子会社における不動産売却を原資とした当該関連会社からの配当金(当期該当なし、前年同期3,514百万円)を除いた場合の金額を表示しています。

【連結】

(単位：百万円)

		2024年 6月期	2023年 6月期比	2023年 6月期
経常収益	39	33,252	2,599	30,652
経常利益	40	9,692	769	8,923
親会社株主に帰属する四半期純利益	41	6,625	452	6,172

(2) ROE

東京きらぼしフィナンシャルグループ【連結】

(単位：%)

	2024年	2023年	2023年 6月期
	6月期	6月期比	
親会社株主に帰属する四半期純利益ベース	7.21	0.14	7.07

(注) 分母となる自己資本平均残高は、(期首自己資本+期末自己資本) ÷ 2 で算出しております。

きらぼし銀行【単体】

(単位：%)

	2024年	2023年	2023年 6月期
	6月期	6月期比	
業務純益ベース (一般貸倒引当金繰入前)	4.18	△12.54	16.72
業務純益ベース	4.21	△12.87	17.09
コア業務純益ベース	8.07	△8.04	16.11
四半期純利益ベース	7.58	△4.16	11.74

(注) 分母となる自己資本平均残高は、(期首自己資本+期末自己資本) ÷ 2 で算出しております。

きらぼし銀行【単体】 (関連会社配当金を控除した場合)

(単位：%)

	2024年	2023年	2023年 6月期
	6月期	6月期比	
業務純益ベース (一般貸倒引当金繰入前)	4.18	△8.38	12.56
業務純益ベース	4.21	△8.72	12.93
コア業務純益ベース	8.07	△3.87	11.94
四半期純利益ベース	7.58	0.07	7.51

(注) 1. 分母となる自己資本平均残高は、(期首自己資本+期末自己資本) ÷ 2 で算出しております。
2. 関連会社配当金は、2023年6月期は35億円を控除しております。2024年6月期は該当ありません。

きらぼし銀行【連結】

(単位：%)

	2024年	2023年	2023年 6月期
	6月期	6月期比	
業務純益ベース (一般貸倒引当金繰入前)	3.62	△8.13	11.76
業務純益ベース	3.66	△8.46	12.12
コア業務純益ベース	7.31	△3.84	11.16
親会社株主に帰属する四半期純利益ベース	7.25	△0.15	7.40

(注) 分母となる自己資本平均残高は、(期首自己資本+期末自己資本) ÷ 2 で算出しております。

(3) OHR

きらぼし銀行【単体】

(単位：%)

	2024年	2023年	2023年
	6月期	6月期比	6月期
コア業務粗利益ベース	66.87	16.50	50.37
業務粗利益ベース	79.58	30.14	49.44

(注)
$$\text{OHR} = \frac{\text{経費}}{\text{業務粗利益}} \times 100$$

きらぼし銀行【単体】（関連会社配当金を控除した場合）

(単位：%)

	2024年	2023年	2023年
	6月期	6月期比	6月期
コア業務粗利益ベース	66.87	8.70	58.17
業務粗利益ベース	79.58	22.65	56.93

(注) 1.
$$\text{OHR} = \frac{\text{経費}}{\text{業務粗利益}} \times 100$$

2. 関連会社配当金は、2023年6月期は35億円を控除しております。2024年6月期は該当ありません。

（4）自己資本比率（国内基準）

①東京きらぼしフィナンシャルグループ【連結】

（単位：百万円、％）

	2024年 6月末	2024年 3月末比	2024年 3月末
(1) 自己資本比率 (2) ÷ (3)	8.47	0.21	8.25
(2) 自己資本	334,318	4,971	329,346
(イ) うち普通株式又は強制転換条項付優先株式に係る株主資本の額	353,515	5,664	347,851
(ロ) うちコア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額	5,663	△35	5,699
(ハ) うち適格旧資本調達手段の額のうち、経過措置によりコア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	—	—	—
(3) リスク・アセット等	3,946,139	△44,299	3,990,438
(4) 総所要自己資本額 (3) × 4％	157,845	△1,771	159,617

②きらぼし銀行【単体】

（単位：百万円、％）

	2024年 6月末	2024年 3月末比	2024年 3月末
(1) 自己資本比率 (2) ÷ (3)	8.82	0.24	8.57
(2) 自己資本	341,898	5,836	336,061
(イ) うち普通株式又は強制転換条項付優先株式に係る株主資本の額	353,729	6,566	347,163
(ロ) うちコア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額	5,480	△27	5,508
(ハ) うち適格旧資本調達手段の額のうち、経過措置によりコア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	—	—	—
(3) リスク・アセット等	3,874,995	△42,058	3,917,053
(4) 総所要自己資本額 (3) × 4％	154,999	△1,682	156,682

③きらぼし銀行【連結】

（単位：百万円、％）

	2024年 6月末	2024年 3月末比	2024年 3月末
(1) 自己資本比率 (2) ÷ (3)	8.88	0.24	8.63
(2) 自己資本	345,310	5,964	339,346
(イ) うち普通株式又は強制転換条項付優先株式に係る株主資本の額	359,065	6,625	352,440
(ロ) うちコア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額	5,578	△29	5,608
(ハ) うち適格旧資本調達手段の額のうち、経過措置によりコア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	—	—	—
(3) リスク・アセット等	3,886,005	△42,046	3,928,051
(4) 総所要自己資本額 (3) × 4％	155,440	△1,681	157,122

④UI銀行【単体】

(単位：百万円、%)

	2024年 6月末	2024年	2024年 3月末
		3月末比	
(1) 自己資本比率 (2) ÷ (3)	5.27	△1.21	6.49
(2) 自己資本	4,241	△795	5,037
(イ) うち普通株式又は強制転換条項付優先株式に係る株主資本の額	7,217	△530	7,747
(ロ) うちコア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額	140	4	136
(ハ) うち適格旧資本調達手段の額のうち、経過措置によりコア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	—	—	—
(3) リスク・アセット等	80,340	2,777	77,562
(4) 総所要自己資本額 (3) × 4%	3,213	111	3,102

(注) 「自己資本比率」は、2006年金融庁告示第19号及び第20号に基づき算出しております。
また、信用リスク・アセットの算出においては標準的手法を、オペレーショナル・リスク相当額の算出においては基礎的手法を採用しております。

(5) リスク管理債権及び金融再生法開示債権

① きらぼし銀行【単体】

(単位：百万円、%)

	2024年6月末			2024年3月末	2023年6月末
	2024年6月末	2024年3月末比	2023年6月末比		
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	17,808	1,675	△5,712	16,133	23,521
危険債権	83,007	△6,219	△7,008	89,226	90,015
要管理債権	7,700	304	△91	7,395	7,792
三月以上延滞債権額	214	△207	△114	421	328
貸出条件緩和債権額	7,486	512	22	6,974	7,464
小計 (A)	108,516	△4,239	△12,812	112,756	121,328
正常債権	4,772,620	19,993	57,765	4,752,626	4,714,855
総与信残高 (B)	4,881,137	15,754	44,952	4,865,383	4,836,184
総与信残高に占める割合 (A)÷(B)	2.22	△0.09	△0.28	2.31	2.50

② UI銀行【単体】

(単位：百万円、%)

	2024年6月末			2024年3月末	2023年6月末
	2024年6月末	2024年3月末比	2023年6月末比		
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	4	△3	1	8	2
危険債権	—	—	—	—	—
要管理債権	—	—	—	—	—
三月以上延滞債権額	—	—	—	—	—
貸出条件緩和債権額	—	—	—	—	—
小計 (A)	4	△3	1	8	2
正常債権	481	198	452	282	29
総与信残高 (B)	485	195	454	290	31
総与信残高に占める割合 (A)÷(B)	0.88	△1.95	△6.67	2.83	7.56

(注) きらぼし銀行に対する貸出金は上表に含めておりません。

部分直接償却を実施した場合

① きらぼし銀行【単体】

(単位：百万円、%)

				2024年 3月末	2023年 6月末
	2024年 6月末	2024年 3月末比	2023年 6月末比		
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	6,570	673	△2,791	5,897	9,362
危険債権	83,007	△6,219	△7,008	89,226	90,015
要管理債権	7,700	304	△91	7,395	7,792
三月以上延滞債権額	214	△207	△114	421	328
貸出条件緩和債権額	7,486	512	22	6,974	7,464
小計 (A)	97,278	△5,241	△9,891	102,519	107,170
正常債権	4,772,620	19,993	57,765	4,752,626	4,714,855
総与信残高 (B)	4,869,899	14,752	47,873	4,855,146	4,822,025
総与信残高に占める割合 (A)÷(B)	1.99	△0.11	△0.22	2.11	2.22

② UI銀行【単体】

(単位：百万円、%)

				2024年 3月末	2023年 6月末
	2024年 6月末	2024年 3月末比	2023年 6月末比		
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	4	△3	1	8	2
危険債権	—	—	—	—	—
要管理債権	—	—	—	—	—
三月以上延滞債権額	—	—	—	—	—
貸出条件緩和債権額	—	—	—	—	—
小計 (A)	4	△3	1	8	2
正常債権	481	198	452	282	29
総与信残高 (B)	485	195	454	290	31
総与信残高に占める割合 (A)÷(B)	0.88	△1.95	△6.67	2.83	7.56

(注) きらぼし銀行に対する貸出金は上表に含めておりません。

(6) 貸出金・預金残高等の状況

① 貸出金の状況

(1) きらぼし銀行【単体】

(単位：百万円、%)

	2024年 6月末	2024年 3月末比		2024年 3月末	2023年 6月末
		2024年 3月末比	2023年 6月末比		
貸出金(未残)	4,847,650	14,540	53,755	4,833,110	4,793,894
(除く特別国際金融取引勘定) (A)	(4,847,650)	(14,540)	(53,755)	(4,833,110)	(4,793,894)
中小企業等貸出金 (B)	3,950,817	△45,614	△112,578	3,996,431	4,063,396
うち消費者ローン	698,299	2,984	△894	695,315	699,194
中小企業等貸出比率 (B)÷(A)	81.49	△1.18	△3.26	82.68	84.76

(2) U I 銀行【単体】

(単位：百万円、%)

	2024年 6月末	2024年 3月末比		2024年 3月末	2023年 6月末
		2024年 3月末比	2023年 6月末比		
貸出金(未残)	484	194	452	289	31
(除く特別国際金融取引勘定) (A)	(484)	(194)	(452)	(289)	(31)
中小企業等貸出金 (B)	484	194	452	289	31
うち消費者ローン	484	194	452	289	31
中小企業等貸出比率 (B)÷(A)	100.00	—	—	100.00	100.00

(注) きらぼし銀行に対する貸出金は上表に含めておりません。

(3) きらぼし銀行及びU I 銀行の合算

(単位：百万円、%)

	2024年 6月末	2024年 3月末比		2024年 3月末	2023年 6月末
		2024年 3月末比	2023年 6月末比		
貸出金(未残)	4,848,135	14,735	54,208	4,833,399	4,793,926
(除く特別国際金融取引勘定) (A)	(4,848,135)	(14,735)	(54,208)	(4,833,399)	(4,793,926)
中小企業等貸出金 (B)	3,951,301	△45,419	△112,126	3,996,721	4,063,427
うち消費者ローン	698,784	3,179	△441	695,605	699,225
中小企業等貸出比率 (B)÷(A)	81.50	△1.18	△3.26	82.68	84.76

(注) きらぼし銀行に対する貸出金は上表に含めておりません。

② 預金の状況

(1) きらぼし銀行【単体】

(単位：百万円)

	2024年 6月末	2024年 3月末比		2024年 3月末	2023年 6月末
		2024年 3月末比	2023年 6月末比		
預金（未残）	5,598,761	125,864	118,455	5,472,896	5,480,305
個人預金	2,998,804	△1,108	△46,132	2,999,913	3,044,937
法人預金	2,160,032	76,642	92,122	2,083,389	2,067,910
その他預金	439,923	50,329	72,466	389,593	367,457

(2) U I 銀行【単体】

(単位：百万円)

	2024年 6月末	2024年 3月末比		2024年 3月末	2023年 6月末
		2024年 3月末比	2023年 6月末比		
預金（未残）	417,256	13,766	25,332	403,489	391,923
個人預金	417,256	13,766	25,332	403,489	391,923

(3) きらぼし銀行及びU I 銀行の合算

(単位：百万円)

	2024年 6月末	2024年 3月末比		2024年 3月末	2023年 6月末
		2024年 3月末比	2023年 6月末比		
預金（未残）	6,016,017	139,630	143,787	5,876,386	5,872,229
個人預金	3,416,060	12,658	△20,800	3,403,402	3,436,861
法人預金	2,160,032	76,642	92,122	2,083,389	2,067,910
その他預金	439,923	50,329	72,466	389,593	367,457

③ 預かり資産残高

(1) きらぼし銀行【単体】

(単位：百万円)

	2024年 6月末	2024年 3月末比		2024年 3月末	2023年 6月末
		2024年 3月末比	2023年 6月末比		
預かり資産	431,888	8,539	23,664	423,349	408,223
投資信託	159,106	4,653	15,831	154,453	143,275
生命保険	256,953	4,920	16,841	252,033	240,112
公共債	15,828	△1,033	△9,008	16,861	24,836

(2) きらぼしライフデザイン証券

(単位：百万円)

	2024年 6月末	2024年 3月末比		2024年 3月末	2023年 6月末
		2024年 3月末比	2023年 6月末比		
預かり資産	299,847	15,349	73,498	284,497	226,349
投資信託	277,426	13,417	69,670	264,009	207,756
公共債	57	—	△69	57	126
その他	22,363	1,931	3,896	20,431	18,466

(3) きらぼし銀行及びきらぼしライフデザイン証券の合算

(単位：百万円)

	2024年 6月末	2024年 3月末比		2024年 3月末	2023年 6月末
		2024年 3月末比	2023年 6月末比		
預かり資産	731,735	23,888	97,162	707,846	634,572
投資信託	436,533	18,070	85,502	418,463	351,031
生命保険	256,953	4,920	16,841	252,033	240,112
公共債	15,885	△1,033	△9,077	16,918	24,962
その他	22,363	1,931	3,896	20,431	18,466

④ 信託業務

きらぼし銀行【単体】

(単位：百万円)

		2024年 6月期	2024年 3月期比		2024年 3月期	2023年 6月期
			2024年 3月期比	2023年 6月期比		
公共工事代金債権信託	取扱金額	6,182		△5,774	36,553	11,956
	期末残高	21,023	△5,999	△6,437	27,022	27,461
不動産管理信託	取扱金額	334		△1,574	9,076	1,909
	期末残高	96,655	888	5,461	95,767	91,194
その他	取扱金額	9		2	148	6
	期末残高	3,017	△35	446	3,053	2,571
合計	取扱金額	6,527		△7,345	45,778	13,873
	期末残高	120,697	△5,146	△530	125,843	121,227

(注) 取扱金額は算定期間が異なるため、2024年3月期比は記載していません。

(7) 時価のある有価証券の評価損益

① 東京きらぼしフィナンシャルグループ【連結】

(単位：百万円)

	2024年6月末				2023年6月末		
	評価損益	2023年 6月末比	評価益	評価損	評価損益	評価益	評価損
満期保有目的の債券	△1,700	△70	—	1,700	△1,630	1	1,631
その他有価証券	△18,013	△14,160	24,815	42,829	△3,853	22,535	26,389
株式	19,454	5,953	19,703	249	13,501	14,048	546
債券	△21,782	△14,985	285	22,068	△6,797	982	7,779
その他	△15,686	△5,128	4,825	20,511	△10,557	7,505	18,063

② きらぼし銀行【単体】

(単位：百万円)

	2024年6月末				2023年6月末		
	評価損益	2023年 6月末比	評価益	評価損	評価損益	評価益	評価損
満期保有目的の債券	△1,539	82	—	1,539	△1,622	—	1,622
その他有価証券	△17,178	△14,587	24,945	42,124	△2,590	23,474	26,065
株式	18,846	5,873	19,092	245	12,972	13,660	687
債券	△21,468	△15,069	359	21,828	△6,399	1,271	7,671
その他	△14,555	△5,391	5,494	20,049	△9,163	8,542	17,705



東京きらぼしフィナンシャルグループ
2025年3月期 第1四半期
決算概要

2024年6月期 決算サマリー

東京きらぼしFG(連結)

		(億円)					
		① 23/6 〈実績〉	② 24/6 〈実績〉	前年同期比 (②-①)	③ 25/3 〈業績予想〉	進捗率 (② / ③)	
1	経常利益	86	96	+9	321	30.0%	
2	親会社株主に帰属する四半期純利益	58	65	+6	245	26.5%	

24/6 親会社株主に帰属する 四半期純利益	
前年同期比 +11.5% (58億円 → 65億円)	

きらぼし銀行(単体)

		(億円)					
		① 23/6 〈実績〉	② 24/6 〈実績〉	前年同期比 (②-①)	③ 25/3 〈業績予想〉	進捗率 (② / ③)	
1	コア業務粗利益	262	211	▲51	876	24.0%	
2	資金利益	226	194	▲32	799	—	
3	貸出金利息	161	169	+7	676	—	
4	有価証券利息	75	39	▲35	181	—	
5	その他資金利益	▲10	▲14	▲3	▲58	—	
6	非金利収益	35	16	▲19	77	—	
7	経費	▲132	▲141	▲9	▲530	—	
8	コア業務純益	130	69	▲60	346	20.2%	
9	与信関係費用	▲12	▲6	+5	▲50	—	
10	国債等債券損益	4	▲33	▲38	6	—	
11	株式等関係損益	12	60	+47	28	—	
12	その他臨時損益	▲13	5	+19	▲26	—	
13	経常利益	121	95	▲25	304	31.4%	
14	特別損益	▲0	▲0	▲0	24	—	
15	法人税等	▲26	▲29	▲2	▲100	—	
16	四半期純利益	94	65	▲29	228	28.7%	

注: 前年同期比の符号は、利益の増加は「+」、利益の減少は「▲」で表示

ポイント解説

		(億円)		
		23/6	24/6	前年同期比
有価証券利息		75	39	▲35
うち 特殊要因(関連会社配当金)		35	—	▲35
【特殊要因除く】有価証券利息		40	39	▲0

→23/6期は特殊要因持分法適用関連会社の子会社における不動産売却を原資とした当該関連会社からの配当金35億円を計上

24/6 経常利益	
前年同期比 ▲21.3% (121億円 → 95億円)	
24/6 四半期純利益	
前年同期比 ▲30.7% (94億円 → 65億円)	

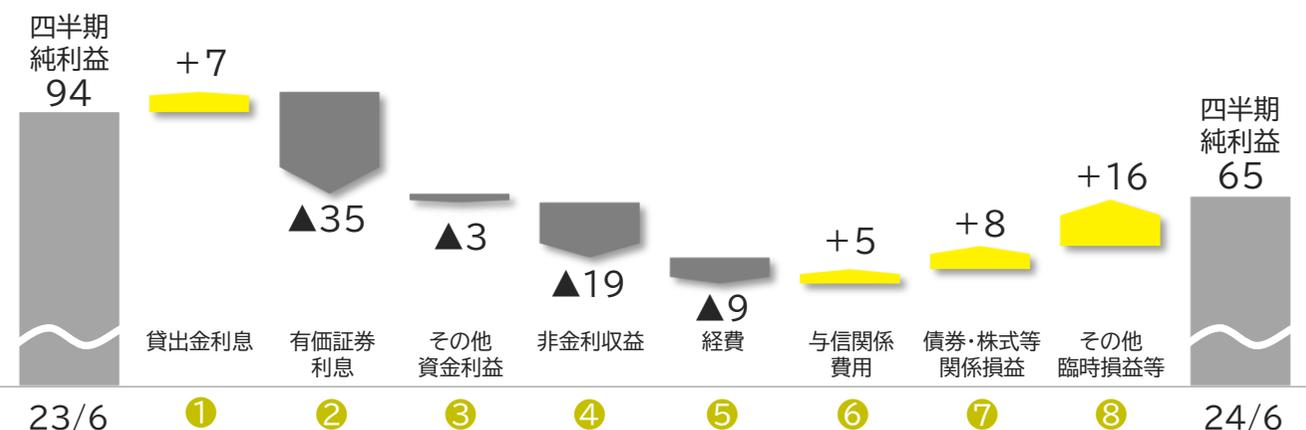
特殊要因を除いた場合	
24/6 経常利益	
前年同期比 +10.6% (86億円 → 95億円)	
24/6 四半期純利益	
前年同期比 +10.0% (59億円 → 65億円)	

四半期純利益の増減要因(きらぼし銀行)

※本頁の各計数の符号は、利益の増加は「+」、利益の減少は「▲」で表示

主要項目	前年同期比	ポイント	《参考》特殊要因除く 前年同期比
① 貸出金利息	+7億円	メイン化取引の推進やお客さまとのリレーション強化の取組み等により、引き続き貸出金は増加、利回りも上昇し、前年同期比+7億円	+7億円
② 有価証券利息配当金	▲35億円	持分法適用関連会社からの配当金の受取(特殊要因※1)が35億円減少したこと等により同比▲35億円	▲0億円
③ その他資金利益	▲3億円	金利上昇に伴う預金利息の増加(▲3億円)や、UI銀行への借入金利息の支払い増加(▲0.9億円)等により同比▲3億円	▲3億円
④ 非金利収益	▲19億円	事業性ファイナンス等による法人役務収益が減少したことなどから同比▲19億円	▲19億円
⑤ 経費	▲9億円	事務委託費等物件費の増加等により同比▲9億円	▲9億円
⑥ 与信関係費用	+5億円	金融再生等の支援強化等により同比+5億円	+5億円
⑦ 債券・株式等関係損益	+8億円	国債等債券の売却損が増加した一方、純投資株式の売却益の増加等により同比+8億円	+8億円
⑧ その他臨時損益 特別損益・法人税等	+16億円	退職給付費用の戻入やファンド費用の減少等により同比+16億円	+16億円
計	▲29億円	※1: 持分法適用関連会社の子会社における不動産売却を原資とした当該関連会社からの配当金(23/6期: 35億円 → 24/6期: 計上なし)	計 +5億円

前年同期からの増減 (億円)



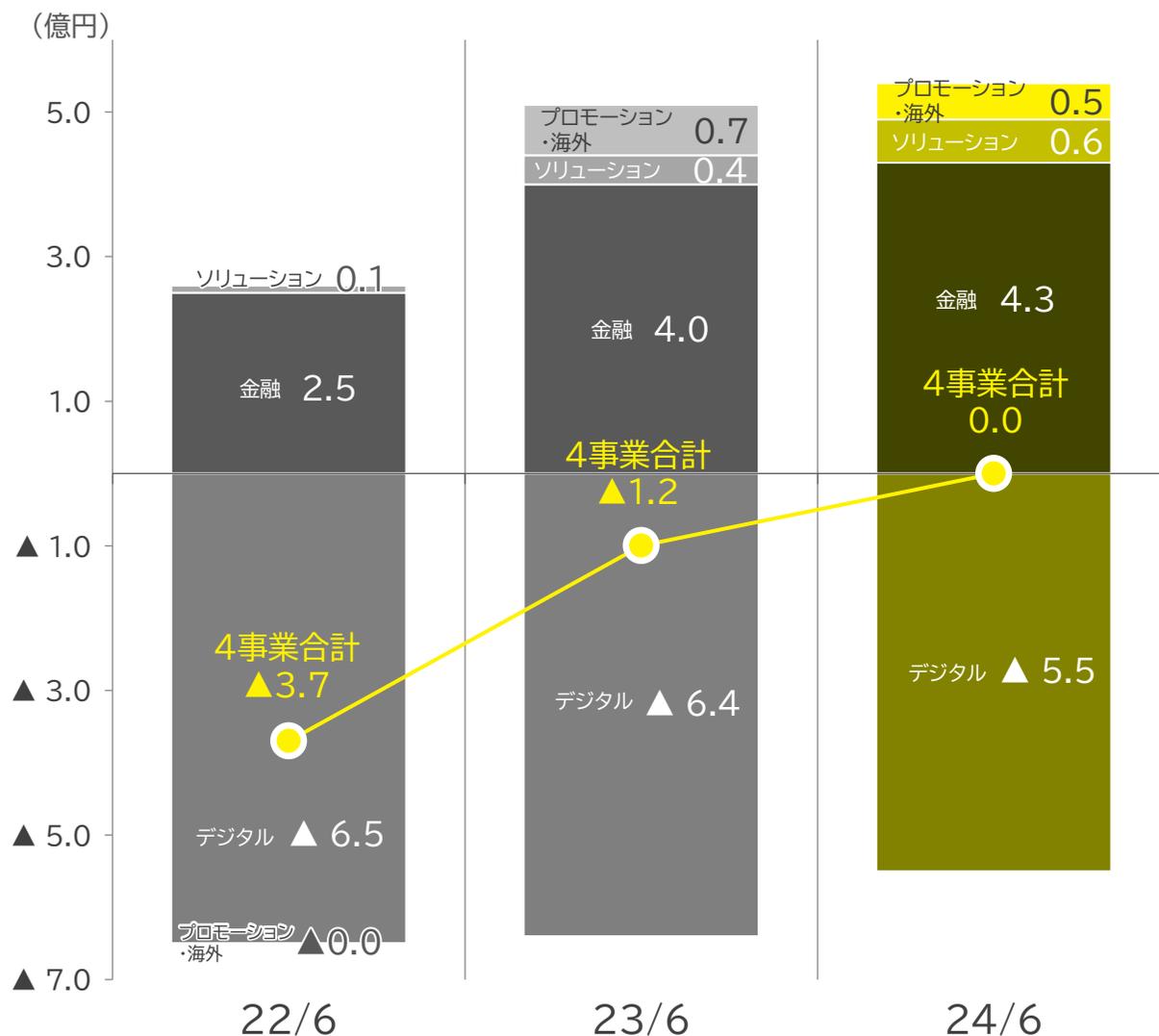
連単差 (億円)

きらぼし銀行【単体】四半期純利益	65
グループ連結利益【うち創業赤字等の影響: ▲5】	+0
連結グループ会社間の内部取引消去 等	▲0
東京きらぼしFG【連結】四半期純利益	65

グループ会社利益(きらぼし銀行を除く)

グループ会社利益(きらぼし銀行を除く)は損益均衡水準に。デジタル事業は早期黒字化を見込む

事業別グループ会社利益推移



デジタル事業

UI銀行
きらぼしテック

金融事業

東京きらぼしリース
きらぼしキャピタル
きらぼしライフデザイン証券
きらぼし債権回収
きらぼしインシュアランスエージェンシー
きらぼしJCB
きらぼし信用保証
八千代信用保証

ソリューション事業

きらぼしコンサルティング
きらぼしシステム
アイティーシー
きらぼしビジネスオフィスサービス

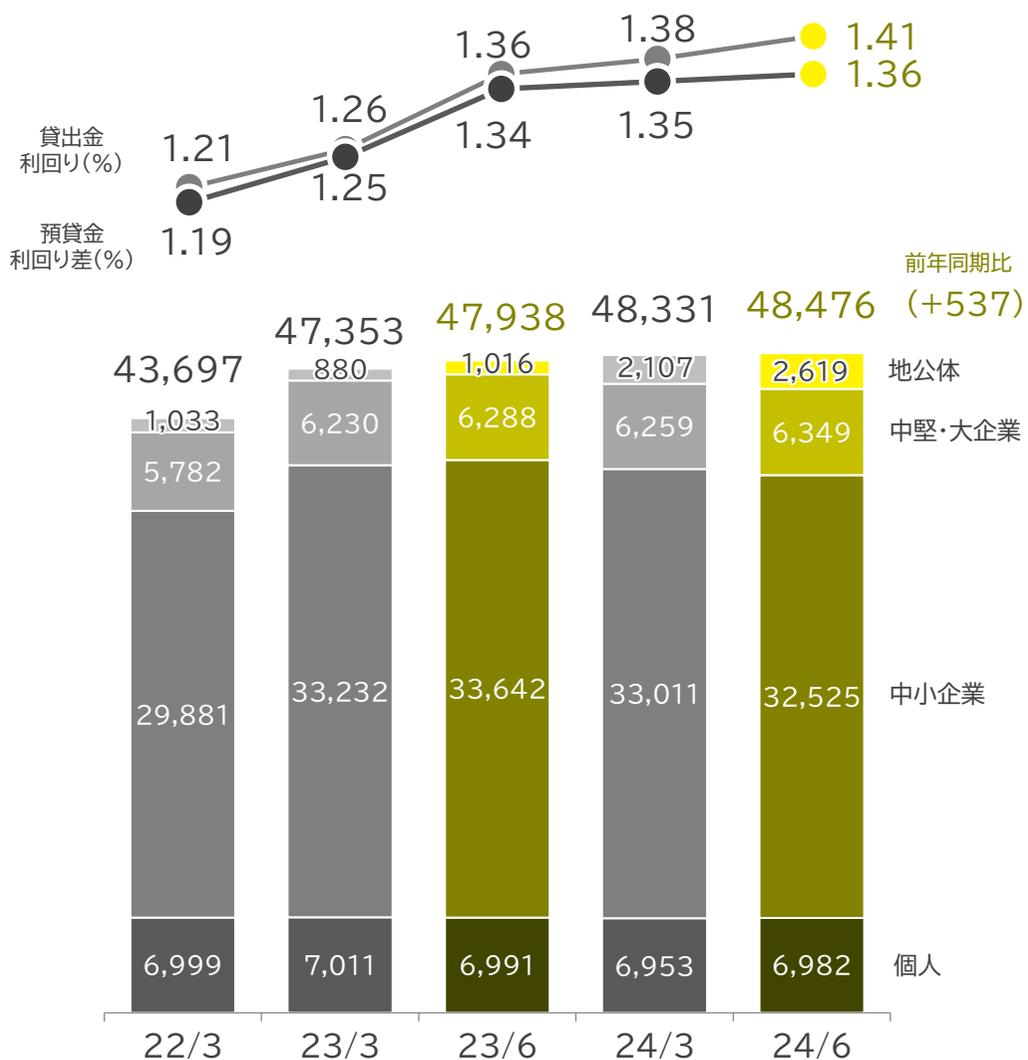
プロモーション・海外事業

ビー・ブレーブ
きらぼしビジネスサービス
綺羅商務諮詢(上海)
信銘冠嘉商務諮詢(北京)
KIRABOSHI BUSINESS CONSULTING VIETNAM

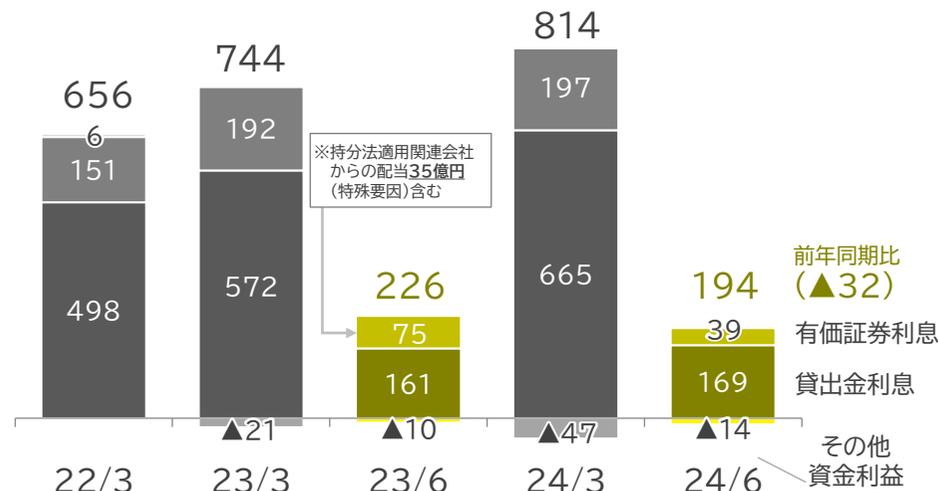
貸出金・信託財産(きらぼし銀行)

メイン化取引の推進等顧客とのリレーション強化の取組みにより、利回りは引き続き上昇
貸出金残高も増加基調にある一方、ディストリビューションの実施などにより中小企業向け貸出は微減

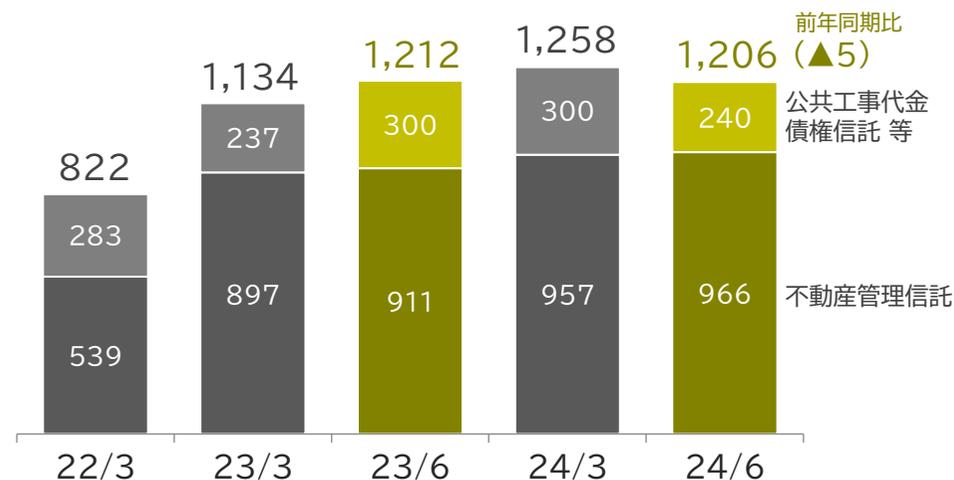
1. 顧客別貸出金残高 (億円)



2. 資金利益 (億円)



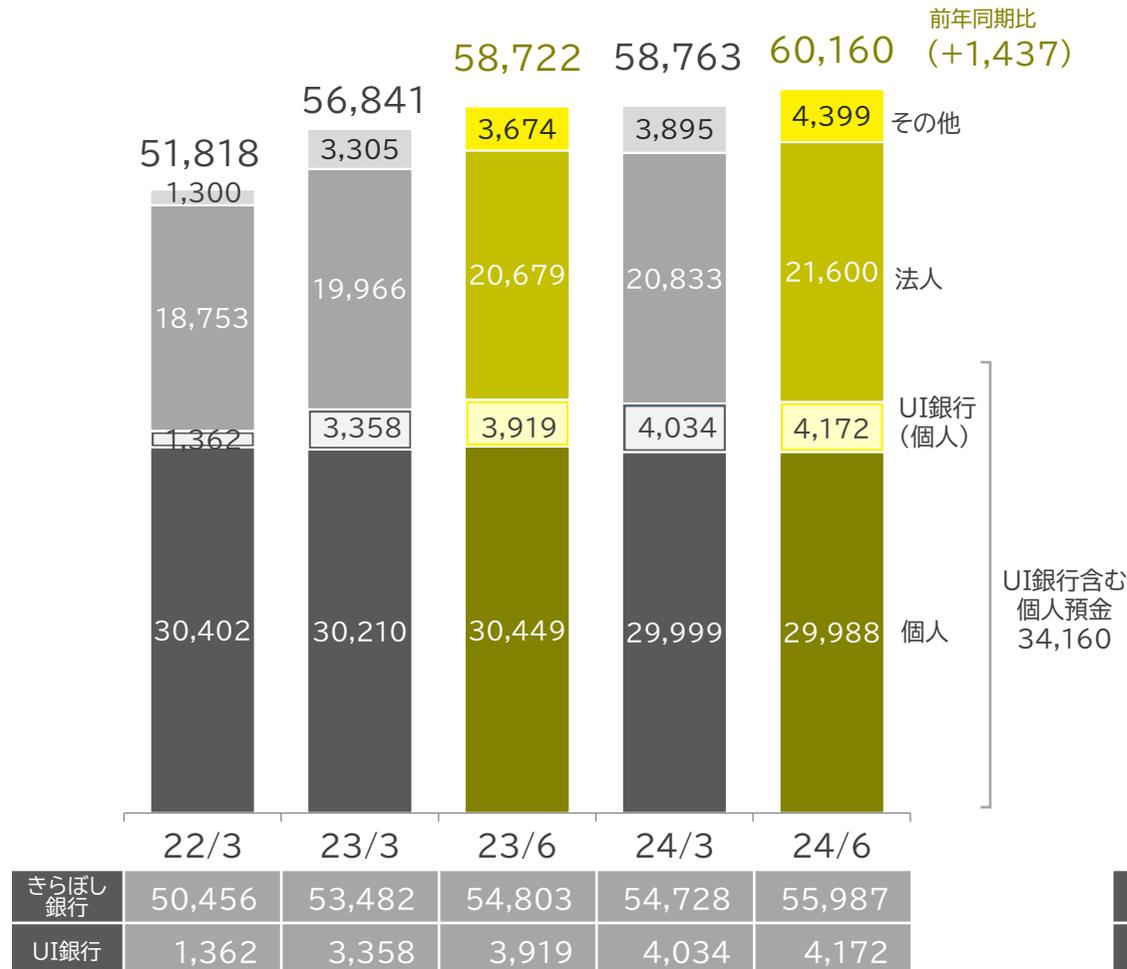
3. 信託財産残高 (億円)



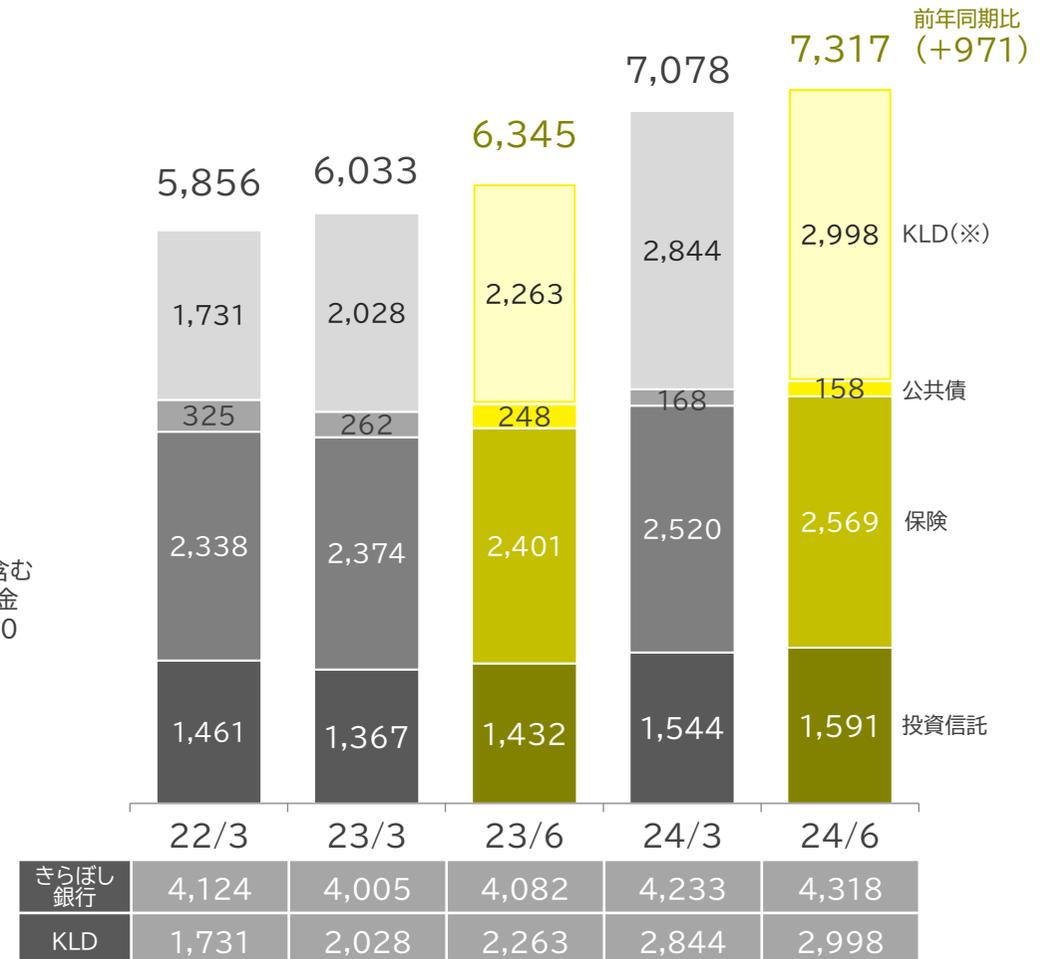
預金・預かり資産残高（きらぼし銀行 + UI銀行 / KLD証券）

きらぼし銀行・UI銀行の合算でグループ全体の預金残高は前年同期比+1,437億円となり「6兆円」台へ
 預かり資産残高は、引き続ききらぼしライフデザイン証券の残高を中心に増加傾向

1. 顧客別預金残高（きらぼし銀行+UI銀行）（億円）



2. 項目別預かり資産残高（きらぼし銀行+KLD）（億円）



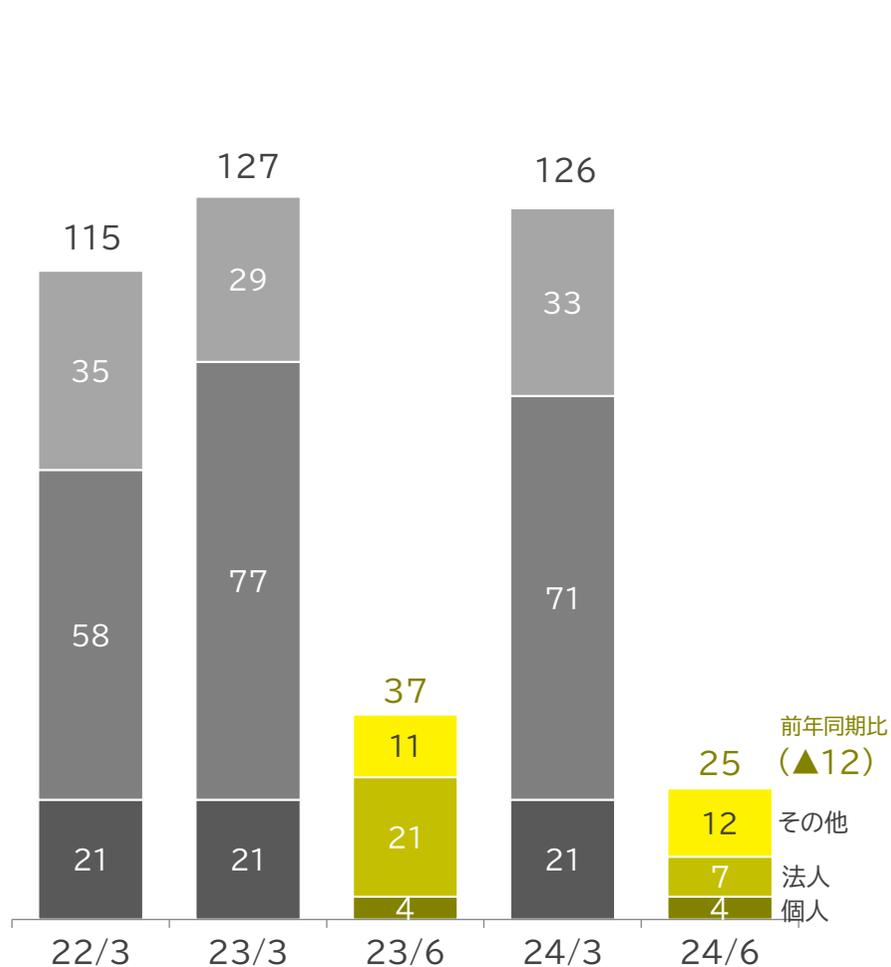
※譲渡性預金を含まない
 ※UI銀行は2022年1月開業

※KLD:きらぼしライフデザイン証券

役務取引等利益(きらぼし銀行)

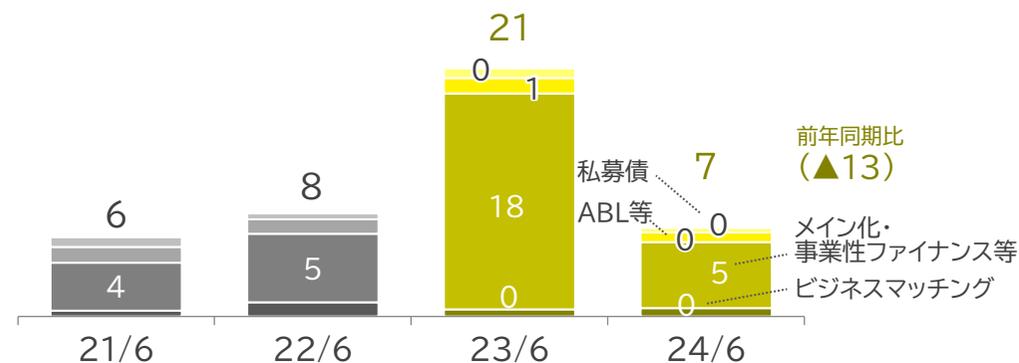
法人役務収益は事業性ファイナンス等により大きく伸長した前年度水準と比較し減収となった一方、個人役務収益は販売手数料に頼らない残高重視の営業体制により、概ね横ばいで推移

1. 役務取引等利益 (億円)

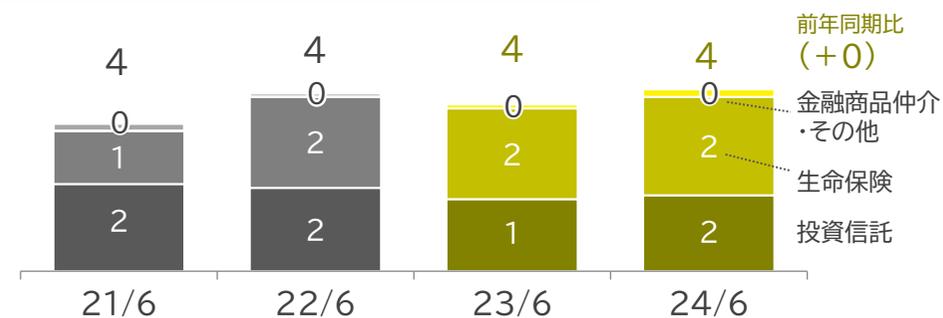


2. 法人役務収益 (億円)

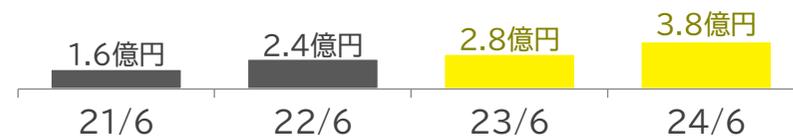
※「2.」「3.」の内訳は内部管理計数による



3. 個人役務収益 (億円)



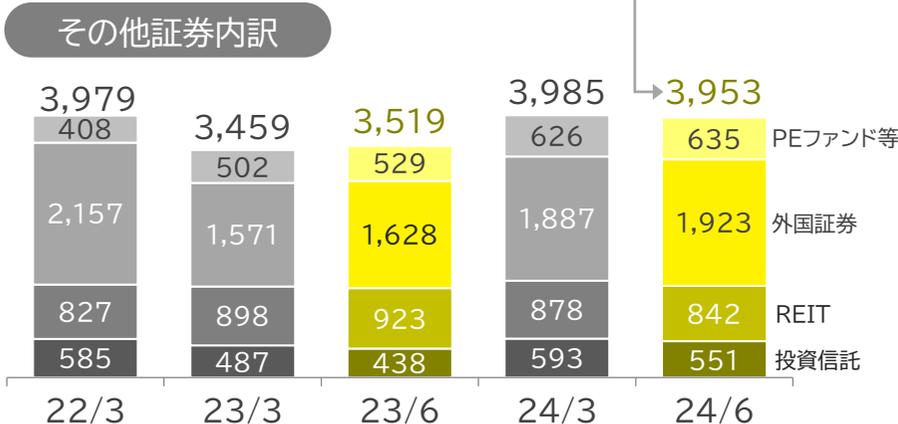
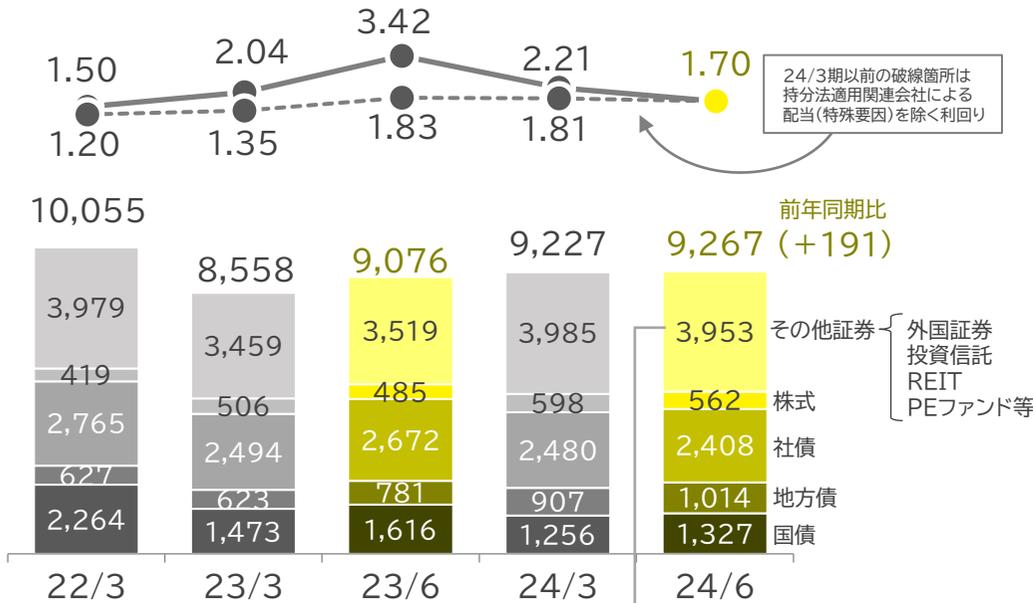
【参考】きらぼしライフデザイン証券手数料収益 (※上記個人役務収益には含まれない)



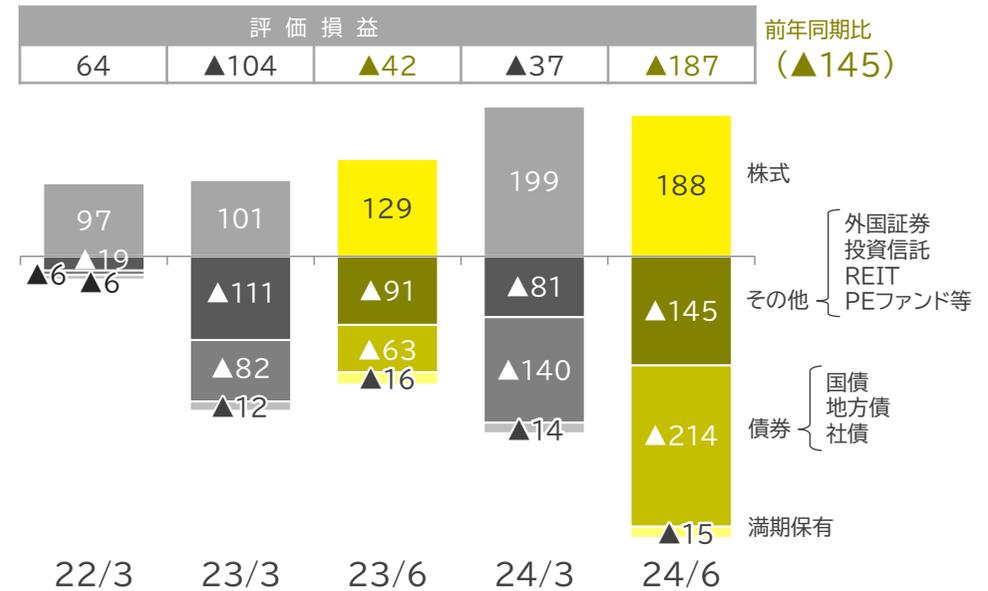
有価証券(きらぼし銀行)

低クーポン債の処理・変動債等への入れ替えを実施、円債デュレーションの短期化及び金利リスク量の圧縮を企図

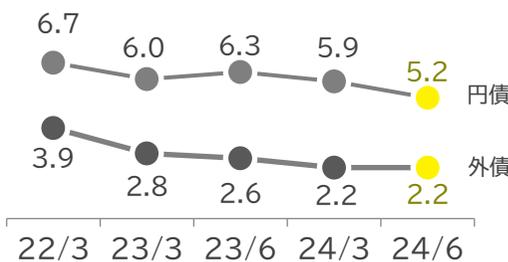
1. 有価証券残高・利回り (億円、%)



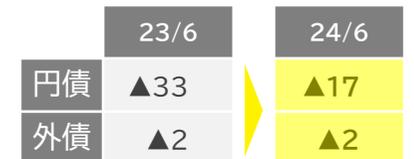
2. 有価証券評価損益 (億円)



3. デュレーション (年)



4. 金利感応度 (億円)

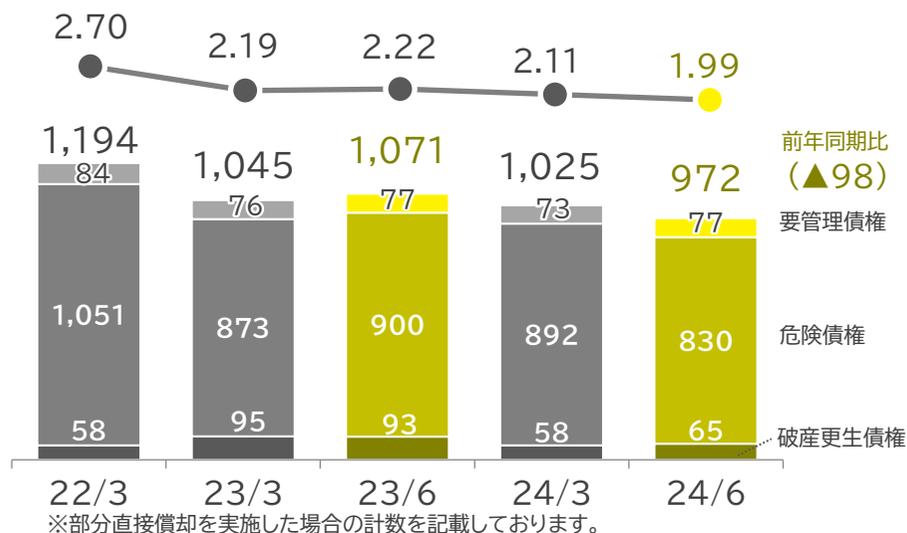


※金利が10bpパラレルに上方シフトした場合の影響
※投信を除く

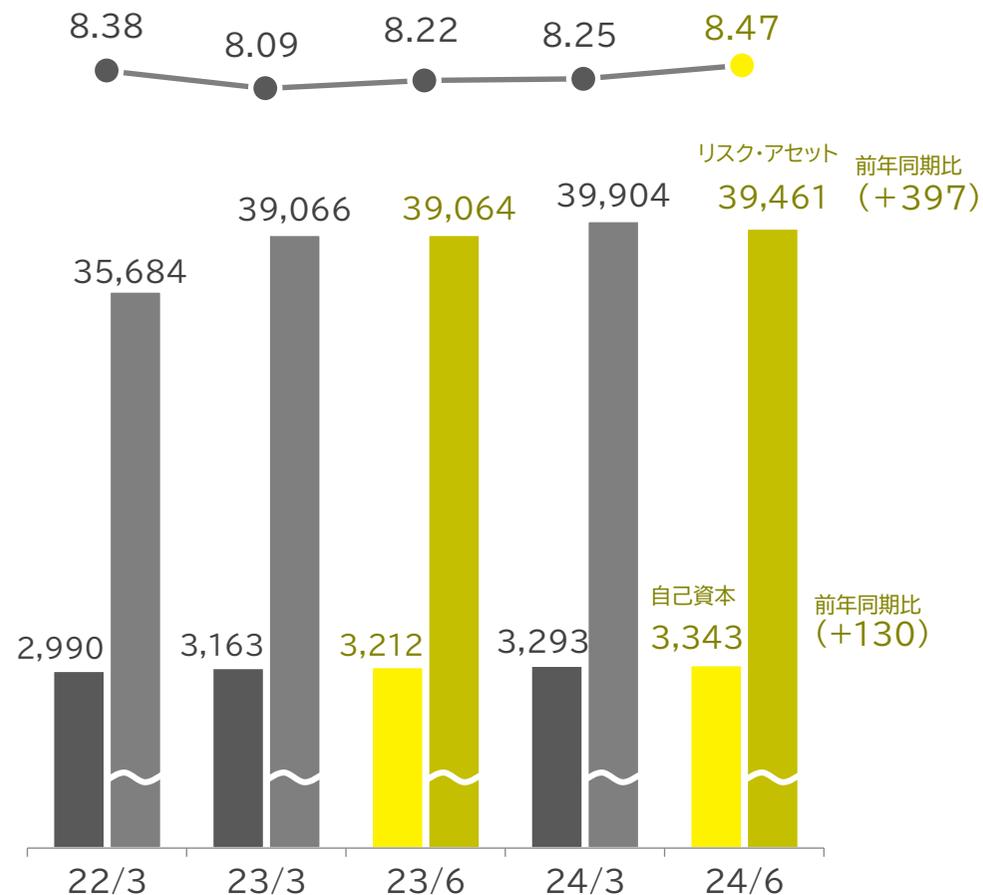
金融再生法開示債権・自己資本比率

開示債権比率は、正常債権の増加や取引先のランクアップ等により前年同期比で減少
 リスク・アセットが増加した一方、利益の積上げにより自己資本は増加、前年同期比で自己資本比率は上昇

1. 開示債権額・比率 (きらぼし銀行) (億円、%)



3. 自己資本比率 (東京きらぼしFG連結) (億円、%)



2. 与信関係費用 (億円)

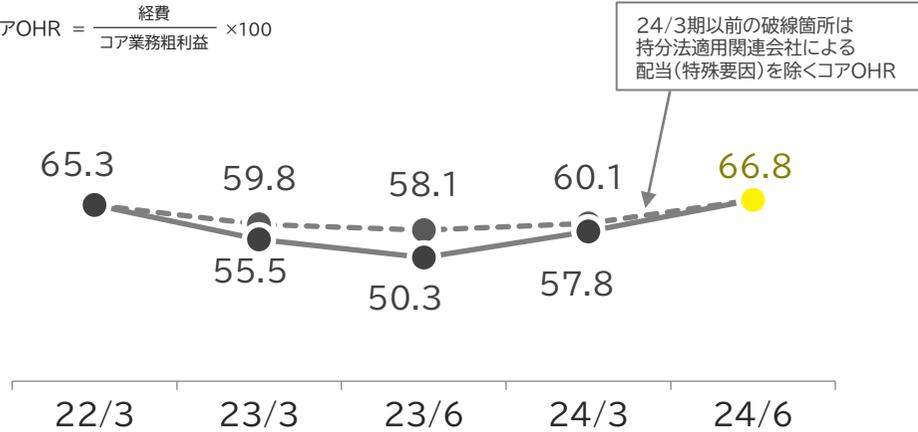
	23/6	24/6	前年同期比
① 一般貸倒引当金繰入額	▲2	▲0	+2
② 不良債権処理額	15	7	▲8
うち個別貸引繰入額	13	5	▲8
③ 貸倒引当金戻入益	—	—	—
与信関係費用 (①+②-③)	12	6	▲5

コアOHR・ROE・配当金

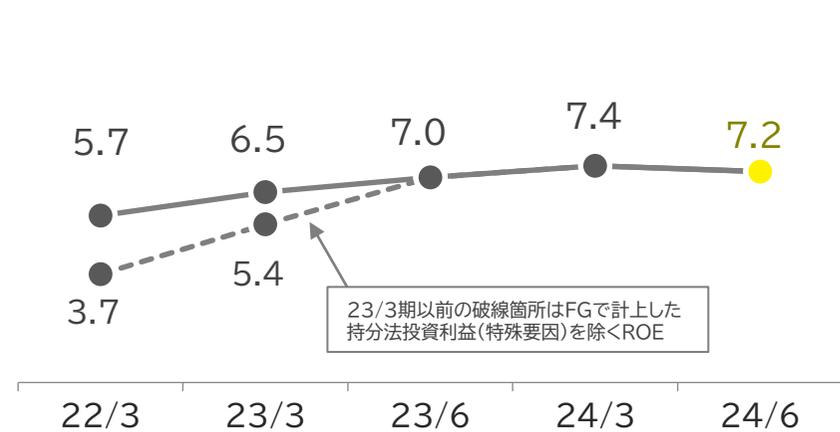
きらぼし銀行のコア業務粗利益の減少や事務委託費等による経費の上昇により、前年同期比でOHRは上昇
ROEは24/3期比低下したものの、引き続き上昇基調。1株あたり年間配当金は4期連続の増配予想

1. コアOHR (きらぼし銀行) (%)

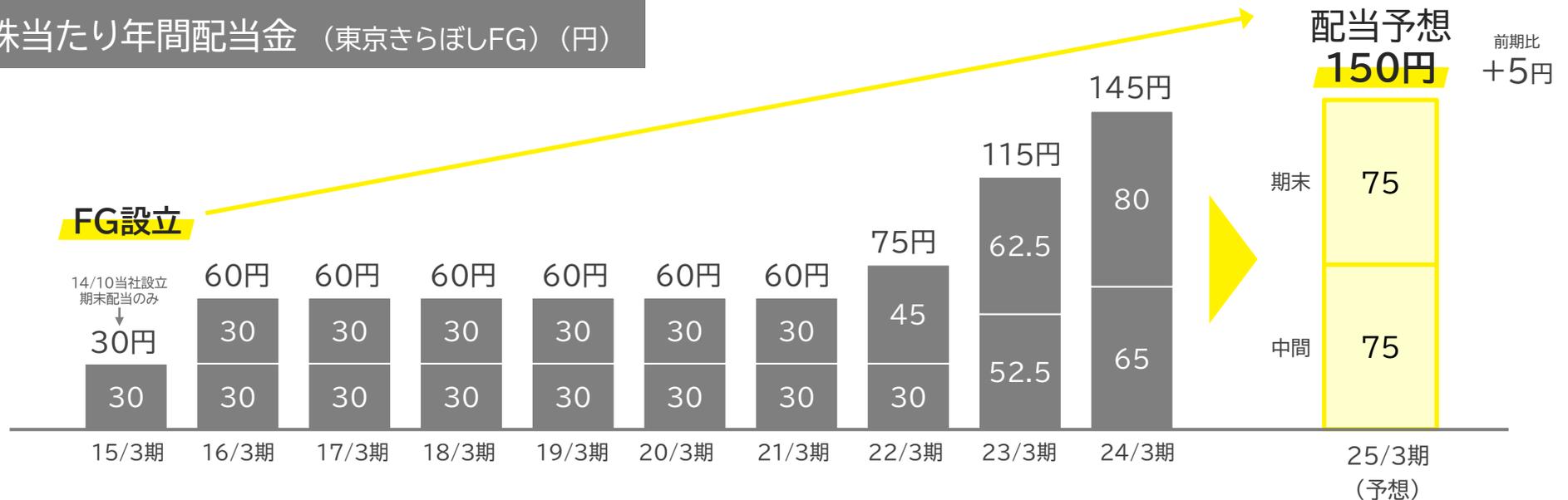
$$\text{コアOHR} = \frac{\text{経費}}{\text{コア業務粗利益}} \times 100$$



2. ROE (東京きらぼしFG連結) (%)



3. 1株当たり年間配当金 (東京きらぼしFG) (円)



住宅ローンの取扱を開始予定、無担保ローンと併せ残高の積み上げを図り、利息収入への貢献を期待

2024年6月期 実績

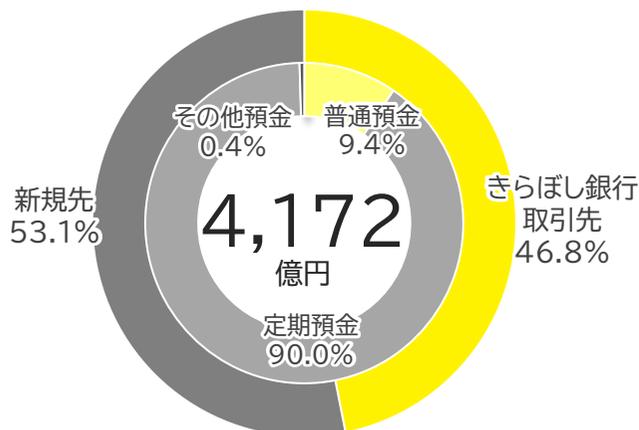
預金残高 **4,172** 億円

預金残高			普通預金/定期預金 内訳		普通預金口座数(顧客数)		
23/6	24/6	前年同期比	24/6		23/6	24/6	前年同期比
3,919 億円	4,172 億円	+6.4 %	うち 普通預金 396 億円	うち 定期預金 3,756 億円	8.4 万口座	12.0 万口座	+41.9 %

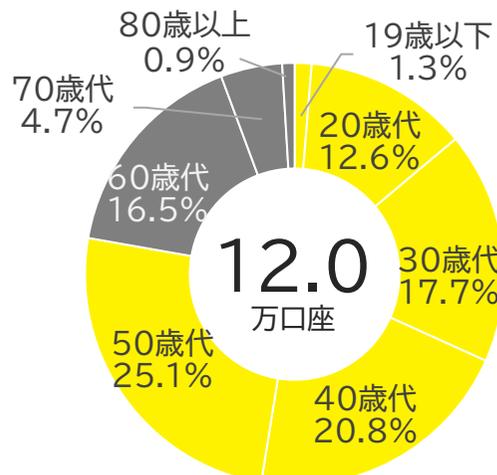
ローン残高 **4.8** 億円

残高(無担保ローン)		
23/6	24/6	前年同期比
0.3 億円	4 億円	+1,461 %

預金残高内訳



年代別口座数分布



地域別口座数分布

